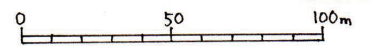


柳井お宝マップ

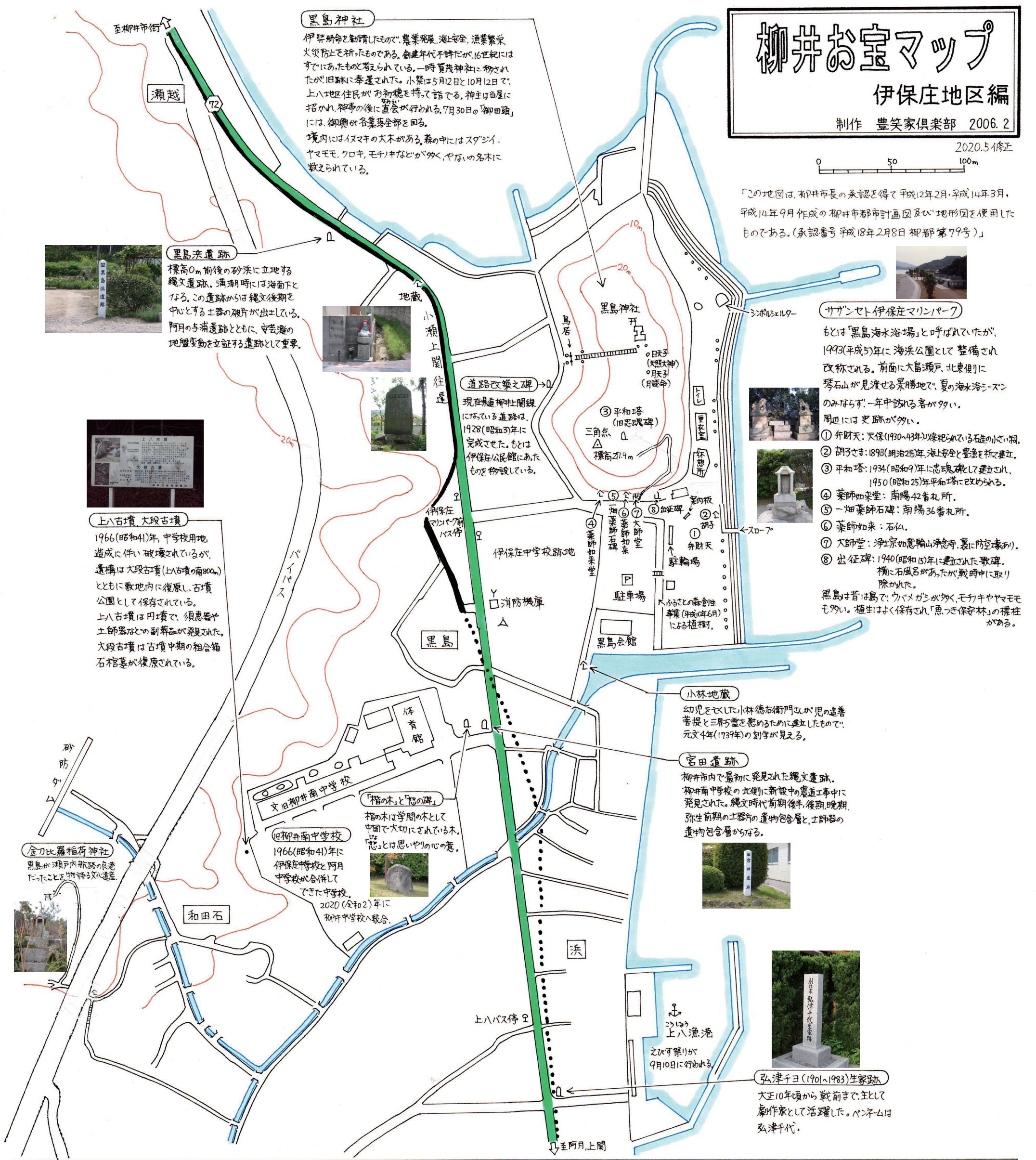
伊保庄地区編

制作 豊笑家倶楽部 2006.2

2020.5修正



「この地図は、柳井市長の承認を得て平成12年2月・平成14年3月、平成14年9月作成の柳井市都市計画図及び地形図を使用したものである。(承認番号平成18年2月8日 柳都第79号)」



黒島神社

伊弉册命を勧請したもので、農業発展、海上安全、漁業繁栄、火災防止を祈ったものである。創建年代不詳だが、16世紀にはすでにあったと考えられている。一時賀茂神社に移されたが旧跡に奉遷された。小祭は5月12日と10月12日で、上八地区住民がお初穂を持って詣でる。神主は当屋に招かれ、神事の後に直会が行われる。7月30日の「御田頭」には、御輿が各集落全部を回る。境内にはイヌマキの大木がある。森の中にはスダジイ、ヤマモモ、クロキ、モチノキなどが多く、やまのの名木に数えられている。

黒島浜遺跡

標高0m前後の砂浜に立地する縄文遺跡。満潮時には海面下となる。この遺跡からは縄文後期を中心とする土器の破片が出ている。阿月の浦遺跡とともに、安芸灘の地盤変動を立証する遺跡として重要。



道路改築之碑

現在黒島柳井間線に於ける道路は、1928(昭和3年)に完成させた。もとは伊保庄公民館にあったものを移設している。



サガンセット伊保庄マリンパーク

もとは「黒島海水浴場」と呼ばれていたが、1993(平成5年)年に海浜公園として整備され改称される。前面に大島瀬戸、北東側に琴石山が見渡せる景勝地で、夏の海水浴シーズンのみならず、一年中訪れる客が多い。周辺には史跡が多い。



- ① 弁財天: 天保(1930~43年)に焼けた石造の小い祠。
- ② 胡子さま: 1893(明治26)年、海上安全と豊漁を祈り建立。
- ③ 平和塔: 1934(昭和9)年に忠魂碑として建立され、1950(昭和25)年平和塔に改められる。
- ④ 葉師如来堂: 南陽42番札所。
- ⑤ 一畑葉師石碑: 南陽36番札所。
- ⑥ 葉師如来: 石仏。
- ⑦ 大師堂: 浄土宗如意輪山淨徳寺、裏に防空壕あり。
- ⑧ 出征碑: 1940(昭和15)年に建立された歌碑。横に石風呂があったが、戦時中に取り除かれた。

黒島は首は島で、クバメガシが多く、モチノキやヤマモモも多い。植生はよく保存され「魚づき保安林」の標柱がある。

上八古墳、大段古墳

1966(昭和41)年、中学校用地造成に伴い破壊されているが、遺構は大段古墳(上八古墳の南800m)とともに敷地内に復原し、古墳公園として保存されている。上八古墳は円墳で、須恵器や土師器などの副葬品が見えられた。大段古墳は古墳中期の組合箱石棺墓が復原されている。



小林地蔵

幼児を亡くした小林徳右衛門が、お見の遺善者提と三原五郎を慰めるために建立したもので、元文4年(1739年)の刻字が見える。

宮田遺跡

柳井市内で最初に発見された縄文遺跡。柳井南中学校の北側に新設中の農道工事中に発見された。縄文時代前期後半、後期、晩期、弥生前期の土器の遺物包含層と、土師器の遺物包含層からなる。



弘津千ヨ(1901~1983)生家跡

大正10年頃から戦前まで、主として劇作家として活躍した。ペンネームは弘津千代。



金刀比羅稲荷神社

黒島が瀬戸内航路の良港だったことと物語り又伝説



旧柳井南中学校

1966(昭和41)年に伊保庄中学校と阿月中学校が合併してできた中学校。2020(令和2)年に柳井中学校へ統合。

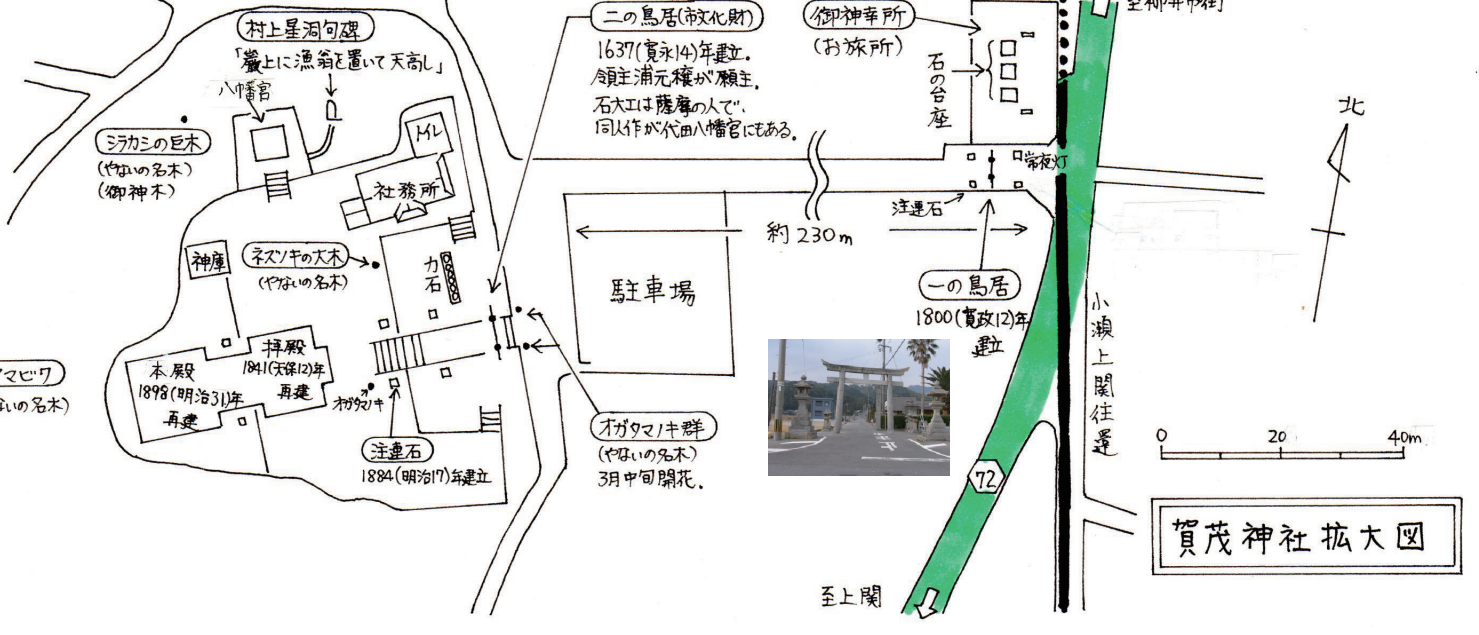
「楷の木」と「怒の碑」

楷の木は学問の木として中国で大切にされている木。「怒」は思いやり、心の意。



賀茂神社

平安後期、堀河天皇の代に、京都賀茂神社の分霊を受けて社殿が造営されたのが始りといわれる。祭神は別雷神、玉依姫命、三毛入野命。7月に夏祭り、10月8、9日には神輿の御神幸がある。社業全体が市の天然記念物に指定されている。



賀茂神社拡大図